

平成15年度IPA未踏ソフトウェア事業

インセンティブ発見に基づく情報共有機構の開発

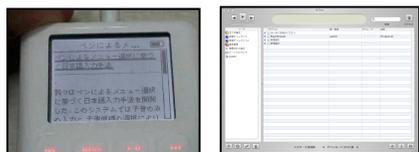
質の良い情報共有を目指して

名古屋工業大学 大学院工学研究科 情報工学専攻/知能情報システム学教育類担当

開発者 新谷虎松, 伊藤孝行 [\[tora, itota\]@ics.nitech.ac.jp](mailto:[tora, itota]@ics.nitech.ac.jp)

【概要】既存の情報共有システムでは、情報を提供する事自体が負担であった。そこでインセンティブの提示によって、情報を提供したくなるような仕組みを持つ情報共有システムの実現を目指す

サービスとしての論文共有



サービス層
MiDoc 論文共有機構

情報共有層
MiShare 分散型情報共有機構

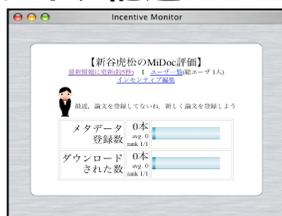
インセンティブ層
MiIncentive KRMLによるインセンティブ記述
MiAuction オークションに基づく制度

インフラ層
MiNet モバイルエージェントに基づく
アドホック情報共有ネットワーク

- 分散型情報共有支援機構
- 論文メタデータの自動取得
- 論文メタデータDBの提供



- ユーザインセンティブの分析
- インセンティブの交換に基づく発見
- XMLに基づくインセンティブ記述KRML



- アドホック情報共有ネットワークの実現
- 脱着式メモリー内にリソースをすべて格納
- 通信先の指定はユーザ名で行う

